

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費 (内用地補償費)	億円
		通常砂防事業 <small>いづくみに 泉組谷川</small>	朝来郡和田山町 <small>てらうち 寺内</small>		約2.5 (約10百万円)
所在地				着工予定年度	完成予定年度
朝来郡 和田山町 寺内				H15年度	H19年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進んでいるうえ、土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置することにより、人命・財産及び県道を保全する。	・砂防堰堤工 2基 (H = 11.0m , L = 77.0m) (H = 7.0m , L = 42.0m)

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・泉組谷川は土石流危険渓流である。 ・流域状況は、急峻な地形であり、近年の降雨で渓流の荒廃が進み、崩壊土砂が渓流中に堆積しているが、土石流対策としては18%と低い水準である。 ・生活道路である県道、町道に被害が及ぶと、一時的に地域が分断される。また、県道沿いには、小学校や下水処理場がある。 ・保全対象 : 人家 19戸、公共施設 = (主)和田山出石線, 町道, 寺院 田畑 = 1.0ha
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、安全で快適な生活空間を確保出来る。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの事業化への要望が強い。 ・豪雪地帯対策特別指定地域及び山村振興指定地域に該当し、砂防堰堤工の整備により地域間格差の是正に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・人命・財産(人家19戸)及び(主)和田山出石線が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・流域状況は溪岸の崩壊が著しく、土砂の堆積もあり、荒廃度が10%を超えているため次期出水による土砂流出の危険性が高い。 ・土石流の被害想定区域には人家が多く(19戸)、また、(主)和田山出石線があり、寺内地区の人命・財産を保全するために早急な土砂災害対策が必要である。